

平成25年度 福島県地域医療体験研修《冬》



写真：猪苗代湖と磐梯山

地域医療を知るはじめの一步は、福島県の地域医療体験研修で！

福島県では、医学生の皆さんに、地域の医療現場を実際に、「見て」「聴いて」「感じて」いただき、地域医療への興味をより深めていただくため、地域の医療機関及び住民の皆様にご協力いただき、地域医療体験研修を実施しております。

県南、会津及び相双の3地域で、地域の特色を生かした、ほかでは体験することができない研修を用意しておりますので、お気軽にぜひご参加下さい。



福 島 県

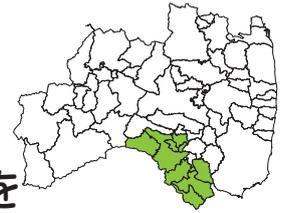
【県南コース】



豊かな自然、歴史、文化のふるさと

「ひがししらかわ」で

“地域医療体験”と地域の住民と素敵な交流を



【期日】 平成26年3月12日(水)～13日(木) 1泊2日



訪問診療同行
(矢祭町にて)

研修の概要

○ 研修の趣旨

地域医療の現状視察や地域住民との交流などの場を提供し、福島県東白川郡における地域医療や地域の現状について理解を深めてもらいます。

○ 主な研修の内容

1 地域医療現場の視察

東白川地域等の診療現場を視察します。

2 地域医療に従事する医師との懇談会

地域医療に従事する医師から、地域医療に対する考え方や体験談など生の声を聞き、意見交換を行います。

3 地域住民との交流

地域住民との交流を通し、地域の実情について理解を深めます。

過去の研修風景



健康教室開催



地域住民との交流



吉田富三記念館見学



地域病院視察

アピールポイント

- 1 東北の最南端“みちのくの玄関口”福島県南地域は首都圏から新幹線利用で約2時間です。
- 2 茨城県と栃木県に隣接する東白川郡は、豊かな自然・歴史・文化の里山(ふるさと)です。
- 3 高齢社会と過疎化が進行する地域が求める「医師の人間像」を自分の目で認識してください。

地域医療体験研修参加者の声



私は福島県出身です。将来は福島県の地域医療に貢献したいと考えています。鮫川村では、地域の皆様との交流会や健康教室を通して、多くのことを教えて頂きました。「高齢化」「遠方にある病院への通院」等、不安は尽きませんが、印象的だったのが、医療の不便さを感じつつも、皆様が「元気だった？調子はどう？」とお互いに気づかい、朗らかに笑い合う姿でした。「いいお医者様になれるよ」という言葉を頂いた時は本当に嬉しく、また健康への不安を聞きながら、私は既に医療人として頼られていると気づきました。今医師に限らず多くの若い人々は地域を離れ都会へ目を向けがちです。鮫川村の美しい自然や、祭太鼓や笛の音、地域の皆様への親しみは、都会で感じることはできない、地域の暖かみでした。この経験を生かし、きっと地域に貢献のできる医師になりたいと思います。

この研修に参加する前の地域医療に対するイメージは、「閉鎖的で、そこで働く医師は激務で心身ともに疲弊している」といった後ろ向きなイメージでした。訪れた金澤医院では、医師、薬剤師、看護師そして調理師が一つのチームとなり、患者さんに一番適した治療法を模索し、提供していました。これこそが究極のチーム医療の形であるのだと思います。しかし、医療機関同士で協力しあいながら、地域医療の役割を果たしてはいるものの、医療スタッフが不足しているということはまぎれもない事実です。鮫川村内は医師不在の時間帯が生じることもあり、地域住民は常に不安を抱えています。医師の数を増やすには時間がかかります。地域の医療を充実させるためには、限られた医師の数の中で、無医村を作らないようなシステムを作り、普及させる必要があるのだと感じました。



行程表

日程	スケジュール	食事の有無	宿泊
3月12日(水)	8:30 JR福島駅西口発 9:00 福島県立医科大学発 10:30 JR新白河駅東口発 10:45~11:15 県南保健福祉事務所(オリエンテーション) 13:30~15:30 金澤医院の視察・診療訪問への同行 16:00~17:30 塙厚生病院の視察 18:00~20:30 医療従事者との懇談会・夕食会	朝(×) 昼(○) 夜(○)	矢祭町 「ユーパル矢祭」
3月13日(木)	8:40~9:40 ユーアイホームでの回診同行・見学 10:15~11:15 吉田富三記念館の見学 11:15~13:15 バス移動・白河市内散策・昼食 13:30~15:30 白河厚生総合病院の視察・臨床研修医との懇談会・参加者の意見交換会 15:45 JR新白河駅東口着 17:00 福島県立医科大学着 17:30 JR福島駅西口着	朝(○) 昼(○)	

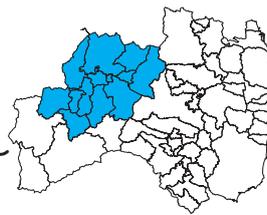
【会津コース】



福島県新島八重マスコット
キャラクター「八重たん」

奥会津の地域医療体験研修

～地域医療とは何かを一緒に考えてみませんか～



【期日】 平成26年2月25日(火)～26日(水) 1泊2日



金山町国保診療所
横田出張診療所にて

研修の概要

○ 研修の趣旨

地域医療に関心を持つ医学生を対象として、奥会津地域の医療の現場視察や住民等との交流を通して地域医療について理解を深める機会とします。

○ 主な研修の内容

1 奥会津の地域を支える医療の現場を視察します。

診療所やそれを支援する病院を視察し、地域医療体制のそれぞれが果たす役割や連携について理解を深めます。

2 地域住民・医療従事者等との懇談を行います。

地域住民からは医療に期待することなどを、地域医療に従事する医師からは体験談などを直接聞き、意見交換を行います。

3 会津の生活・文化に触れます。

雪かたし体験や郷土料理作り体験を行い、地域住民の生活や文化について理解を深めます。

過去の研修風景



医療機関の視察



診療所での出会い



住民宅での懇談



餅つき体験

アピールポイント

- 1 へき地の地域医療体制について、理解が深まります。
- 2 地域住民や医療従事者から直接声を聞くことができます。医療と関係機関との連携について理解が深まります。
- 3 奥会津の自然と食を満喫できます。雪かたし体験や郷土料理作り体験など、奥会津ならではの体験を準備しています。

地域医療体験研修参加者の声



研修で見学した4カ所の医療機関は、それぞれが地域の中で異なる役割を担っていた。村唯一の診療所や地域の救急搬送を一手に担う消防署、地域の二次中核病院、そして地域の病院を統合して新たに作られた病院。地域医療で行える医療行為は限られていると思っていたが、むしろ地域では地域だからこそ行える医療があった。そこで生活する人に寄り添い、患者だけでなく患者の家族のことまで考えた、土地と人に根ざした医療。雪の中でも少ない人員であっても出動要請があれば救急車を走らせ駆けつけてくれる救急隊員。自分の専門の科以外の疾患であっても急患の診察を受け容れる当直医。地域最新鋭の医療設備を以て幅広い患者を診る病院。患者を待つのではなく患者の元へ医師が向かう・患者の受け容れを拒否しない、など患者の立場に立った医療が行われていると知った。

奥会津の医療システムだけでなく、そこに住む人の文化や気風など、座学では決して見るこのできない部分をこの研修のおかげで見ることができ、本当に嬉しく思う。

地域医療研修では、普段の大学の授業ではなかなか体験することのできないとても貴重な経験ができたと思う。百聞は一見に如かずという言葉のように、今まで何度もへき地医療という言葉聞いてきたが、実際に生の現場を見たことでその場所で働いている方々の姿が強く心の中に残った。24時間体制で休みもとらずに働いている医師の方が「大変だとは思わないし、特別なことをしているわけではない」と言っていたことが非常に印象的だった。またへき地医療に従事する医師と住民の方々との間にはお互いを思いやる家族のような関係性が見られ、地域医療の中にある温かさというものを感ずることができた。



行程表

日程	スケジュール	食事の有無	宿泊	
2月25日(火)	8:15 8:45 11:00~12:00 13:15~14:00 14:00~15:00 15:30~17:30 17:30~20:00 20:00~21:00	JR福島駅西口発 福島県立医科大学発 柳津町国保診療所等の視察 医療従事者との意見交換 福島県立宮下病院の視察 住民宅訪問(雪かたし体験、住民との懇談) 郷土料理作り体験、夕食 学生によるディスカッション	朝(×) 昼(○) 夜(○)	三島町 「森の校舎カククリ」
2月26日(水)	9:00~11:00 12:30~14:00 13:00~15:00 15:00~15:30 17:00 17:30	会津中央病院の視察 へき地医療支援体制等の講義 研修のまとめ 発表 野口英世記念館の見学 JR福島駅西口着 福島県立医科大学着	朝(○) 昼(○)	

※〔オプション〕

ホームステイを希望する学生に対して、研修前日に昭和村内の住民宅に宿泊するプランも用意しています。

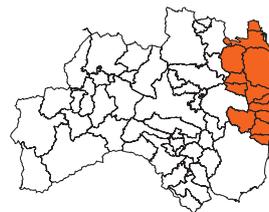
【相双コース】



「みんなで考えよう!!地域医療のこと」

～相双地域の“今”を見て！聴いて！

感じて！ください～



【期日】 平成26年3月6日(木)～7日(金) 1泊2日



研修の概要

○ 研修の趣旨

東日本大震災により県内で最も大きな被害を受けた相双地域における医療の現状について、医療機関や被災地の視察等を通して、理解を深めていただきます。

○ 主な研修の内容

● 地域医療現場の訪問

富岡町大玉仮設診療所、南相馬市立総合病院及び渡辺病院において、震災直後から現在に至るまでの、被災地における医療の現状と課題等について学びます。

※ 富岡町大玉仮設診療所は、大玉村にある富岡町の仮設住宅の一角に平成23年8月に開設され、町の避難者の健康を守り続けています。

※ 南相馬市立総合病院は、相双地区の中核病院として、地域住民の健康を守り続けています。

※ 渡辺病院は、震災以降、医療従事者の不足等により入院病棟を閉鎖し、外来に限り診察を続け地域医療を守り続けています。なお、平成26年3月には新地町に新築移転を予定しています。

● 医療従事者との懇談

医師等から、地域医療に対する考え方や体験談など生の声を聞き、意見交換を行います。

● 被災地視察

東日本大震災被災地の視察を通して、被災地域の実情について理解を深めます。

過去の研修風景



医療機関視察



医療従事者との懇談



被災住民との交流



津波被災地視察

アピールポイント

- 1 震災の影響により、今もなお厳しい環境に置かれている相双地域の医療の現状を学んでいただきます。
- 2 沿岸部の津波被災地域を視察し、復興の現状を知ることができます。
- 3 相双地域のいちごや水産物など旬の味覚を堪能していただけます。

地域医療体験研修参加者の声



今回の研修では、テレビで見た映像や、新聞で読んだ記事だけでは分からない、生の現場を体感できました。地域医療に対して淋しく暗いイメージを持っていましたが、今回訪れた病院や診療所の医師や住民の方々は、皆苦勞しながらも充実しているように見えました。地域医療に対する理解が深まった一方で、新しい疑問も生まれたので、今後もこのような機会があれば参加したいと思います。

公立相馬総合病院では熊先生からお話を伺いました。先生の「せっかく医師として働くならば、自分が求められているところで働くのがいい。」というお言葉が印象的でした。

相双地区は深刻な医師不足に見舞われており、仕事はとても大変だと思います。しかし、そのような地域だからこそ、患者さんは医師のことをとても慕ってくれ、やりがいも非常に大きいと先生は話してくださいました。先生がとても輝いて見えました。私も将来、地域に根ざして、患者さんに慕われる医師になりたいと強く思いました。

ほかにもこの研修を通して多くのことを学びました、普段の座学では決して学ぶことができないことばかりで見聞が大いに広がりました。皆さん、是非、地域医療体験研修に参加してみてください。



行程表

日程	スケジュール	食事の有無	宿泊
3月6日(木)	9:45 JR福島駅西口発 10:15 福島県立医科大学発 11:00~12:00 富岡町大玉仮設診療所視察 14:00~14:45 オリエンテーション 15:00~17:00 南相馬市立総合病院視察 18:30~21:00 医療従事者との懇談・夕食	朝(×) 昼(○) 夜(○)	南相馬市内 ホテル泊
3月7日(金)	8:50~9:10 南相馬市内(被災地)の視察 10:00~10:40 和田観光いちご農園 (いちご狩り体験) 11:00~12:00 渡辺病院視察 15:00 JR福島駅西口着 15:30 福島県立医科大学着	朝(○) 昼(○)	

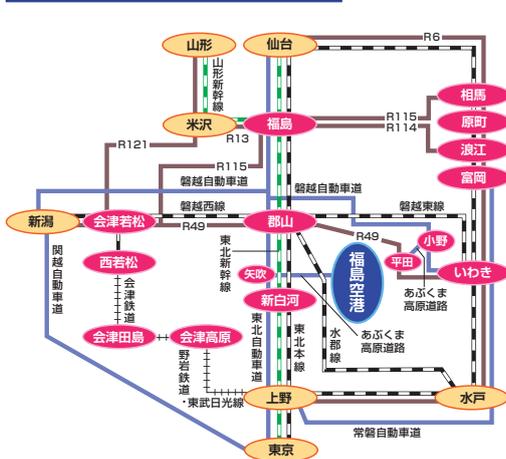
募集案内

対象者	地域医療に興味のある医学生
参加費用	無料 ※出発地から集合場所までの往復の交通費は各自御負担願います。
申込方法	必要事項を記載した申込書を福島県地域医療支援センターまでFAX又は電子メール等でお送りください。
申込期限	平成26年1月24日(金)
参加者の決定方法	先着順。申込者の数が定員を上回った場合は、調整を行う場合があります。なお、結果については、県から皆様へ電子メール又は電話でお知らせします。

日程

コース	日程	研修内容	募集人数	集合場所・日時
会津	2月25日(火) 26日(水) 【1泊2日】	・医療機関の視察 ・医療従事者との意見交換 ・雪かたし・郷土料理作り体験 ・野口英世記念館見学 等	10人	JR福島駅西口バスプール 2月25日 午前8時10分 福島県立医科大学 2月25日 午前8時40分
相双	3月6日(木) 7日(金) 【1泊2日】	・医療機関の視察 ・医療従事者との懇談 ・被災地の視察 ・いちご狩り体験 等	5人	JR福島駅西口バスプール 3月6日 午前9時40分 福島県立医科大学 3月6日 午前10時10分
県南	3月12日(水) 13日(木) 【1泊2日】	・医療機関の視察 ・訪問診療や回診への同行 ・医療従事者や臨床研修医との懇談会 ・吉田富三記念館見学 等	5人	JR福島駅西口バスプール 3月12日 午前8時25分 福島県立医科大学 3月12日 午前8時55分 JR新白河駅東口バスプール 3月12日 午前10時25分

福島駅までのアクセス



- 東北新幹線
東京→福島 最短87分
1時間あたり1～4本
仙台→福島
1時間あたり1～5本

- その他
東京(東京駅・新宿駅)と福島駅の間は、路線高速バスやツアー高速バスが運行されています。

研修の詳細、参加申込等の総合窓口

福島県地域医療支援センター

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地(福島県立医科大学9号館2階)

電話 024-547-1711 FAX 024-547-1715

電子メール rmsc@pref.fukushima.lg.jp

福島県 地域医療体験研修

研修担当

県南コース	県南保健福祉事務所総務企画課	電話 0248-22-5447
会津コース	会津保健福祉事務所総務企画課	電話 0242-29-5506
相双コース	相双保健福祉事務所総務企画課	電話 0244-26-1323